



2016年3月期 通期決算説明資料

2016年5月11日

株式会社ラック 経営企画管理部 IR広報室



1.2016年3月期 通期決算概要

2.2017年3月期 連結業績予想 3.2017年3月期 基本方針/事業重点施策

連結決算ポイント



売上高、利益とも計画を上回り、増収増益達成 ~売上高は5期ぶりに過去最高更新、営業利益は6期連続最高益更新~

配当は2円増配の18円に、4期連続増配

売上高

企業のIT投資が堅調に推移するなか、サイバーセキュリティ対策への意識も一層高まり、SSS事業、SIS事業ともに好調に推移し、12.3%の増収となる

営業利益

人員の増強、処遇改善のための労務費の増加や、新規事業の展開や新マーケット創出など次なる飛躍に向け計画どおりに実行した投資の経費増を吸収し、2.1%の増益となる

親会社株主に帰属する 当期純利益

経常利益、特別利益の増加などにより、15.1%の増益となる

主要経営指標

自己資本当期純利益率(ROE): 17.0% →17.5% 1株当たり配当金:16円(DOE 5.5%) → 18円(DOE5.5%) 予定

連結決算八イライト



前期比

科目	'15年3月期	'16年3月期	前期比増減			
170	通期実績	通期実績	差異	率(%)	主な要因	
売上高	32,850	36,896	+4,046	+12.3	【売上高】	
セキュリティソリューション サービス(SSS)事業	7,639	9,301	+1,661	+21.8	・SSS事業の増収(+1,661M) (全サブセグメントが増収)	
システムインテグレーション サービス(SIS)事業	25,210	27,594	+2,384	+9.5	・SIS事業の増収(+2,384M) (IT保守サービスは減収となるも その他サブセグメントは増収)	
	2,328	2,377	+48	+2.1	「営業利益 [*] 」	
営業利益率%	7.1	6.4	∆0.6 p	-	・売上総利益の増加(+689M) ・販管費の増加(△640M)	
経常利益	2,264	2,360	+96	+4.2	(増収効果により人的投資、成長に向けた 事業投資などの経費増を吸収)	
経常利益率%	6.9	6.4	△ 0.5 p	-		
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,255	1,444	+189	+15.1	【親会社株主に帰属する当期純利益 [*] 】 ・経常利益の増加(+96M) ・特別利益の減少(△101M)	
自己資本当期純利益率(ROE)%	17.0	17.5	0.6	+3.3	・特別損失の減少(△101M) ・特別損失の減少(+149M)	
総資産経常利益率(ROA)%	13.3	13.3	0.0	+0.0		
1株当たり当期純利益(EPS)	49円48銭	56円94銭	+7円46銭	+15.1		
1株当たり純資産(BPS)	307円73銭	341円68銭	+33円95銭	+11.0		
1株当たり配当金	16円	18円(予)	+2円	+12.5	* ()カッコ内の数値は利益額の増減を表す	



予想比

科目	'16年3月期		予想比増減			
170	通期予想	通期実績	差異	率(%)	主な要因	
売上高	35,770	36,896	+1,126	+3.1	【売上高】 ・SSS事業の予想比増(+256M)	
セキュリティソリューション サービス(SSS)事業	9,045	9,301	+256	+2.8	→運用監視はやや予想を下回るがその他 のサービスは好調に推移し予想を上回る	
システムインテグレーション サービス(SIS)事業	26,725	27,594	+869	+3.3	製品販売は大幅増収なるも予想を下回る ・SIS事業の予想比増(+869M)	
営業利益	2,300	2,377	+77	+3.4	→開発サービスは好調持続、予想を上回る HW/SW販売は大幅増収も予想を下回る	
営業利益率%	6.4	6.4	+0.0p	-	IT保守サービスは微減収も予想を上回る ソリューションサービスは新商材など好	
経常利益	2,250	2,360	+110	+4.9	調に推移し大幅増収なるも予想を下回る	
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,320	1,444	+124	+9.5	【営業利益 [*] 】 ・売上総利益は予想を上回る(+249M) ・販管費の予想比増(△172M)	
1株当たり当期純利益 (EPS)	52円02銭	56円94銭	+4円92銭	+9.5	・	
1株当たり配当金	16円	18円(予)	+2	+12.5	* () カッコ内の数値は利益額の増減を表す	

[■]平成28年3月30日に通期業績予想の修正を公表しましたが、当資料における予想値は平成27年5月12日に公表した**期初予想の数値**を記載しています。



前期比





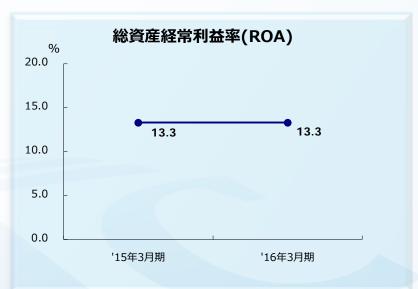




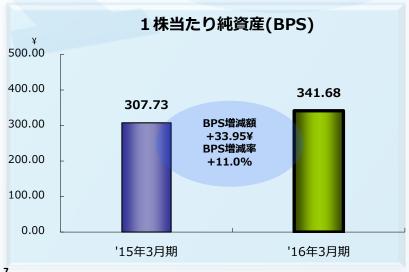


前期比







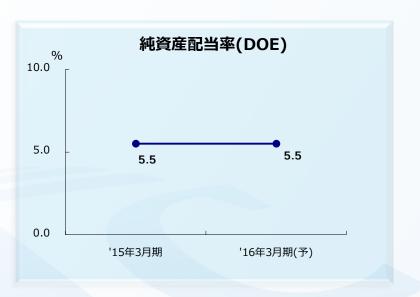




前期比







連結決算八イライト



前期比[四半期比較]





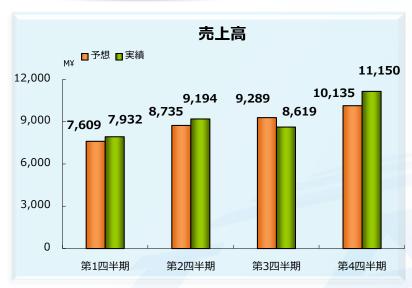




連結決算ハイライト(ご参考)



予想比[四半期比較]











業績の推移



*1) 旧ラックとA&Iの経営統合初年度である'08年3月期の業績には、旧ラックが決算期を12月から3月に変更したことから旧ラックは'07年1月1日~'08年3月31日までの15ヶ月決算を反映しておりますが、本資料では、同一期間で比較するため'07年1月1日から'07年3月31日までの旧ラックの個別業績(売上高2,019百万円、営業利益329百万円)を差し引き、1年換算とした場合の想定実績で記載しております。

*2)事業セグメントの変更は'15年3月期からとなりますが、セグメント別の業績を比較するため、その前年度である'14年3月期も同条件で組み替えた 場合の想定実績で記載しております。 ₁₁ _{Copyright ©LAC Co., Ltd. All Rights Reserved.}

連結貸借対照表八イライト



前期末比

科目	′15年3月期末	'16年3月期末		前期末比増減		
1714	15年5万和八 10年5万和		差異	主な要因		
流動資産	12,573	12,882	+308	【流動資産】 ・現金及び預金の減少(△193M)		
固定資産	5,052	4,918	△133	・受取手形及び売掛金の増加(+813M) ・仕掛品の減少(△191M)		
資産合計	17,625	17,800	+175	【固定資産】		
流動負債	9,688	7,832	△1,856	・のれん (△153M)		
固定負債	116	1,251	+1,135	【流動負債】 ・買掛金の増加(+824M)		
負債合計	9,804	9,084	△720	・1年内返済予定の長期借入金の減少(△1,282M) ・未払金の減少(△391M)		
純資産合計	7,820	8,716	+895	・未払法人税等の減少(△422M)・「その他」に含まれる未払消費税等の減少(△340M)		
現預金	4,803	4,609	△193	【固定負債】		
有利子負債	2,201	1,922	△279	・長期借入金の増加(+1,065M)		
自己資本比率	44.3%	48.7%	+4.4p	【純資産】 ・利益剰余金の増加(+988M)		

連結キャッシュ・フロー計算書ハイライト



前期比

科目	'15年3月期	'16年3月期	前期末比		
170	通期実績	通期実績	主な内容		
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,735	1,812	【営業C/F】 ・税前当期純利益 2,411M		
投資活動によるキャッシュ・フロー	△288	△875	・減価償却費 670M ・のれん償却額 519M		
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,384	△1,111	・法人税等の支払額△1,278M ・売上債権の増加額 △779M		
フリーキャッシュ・フロー	3,447	936	・仕入債務の増加額 823M ・その他流動負債の減少額△456M		
現金および現金同等物の増減額(△は減少)	1,089	△193	【投資C/F】 ・有形固定資産の取得による支出 △410M		
現金および現金同等物期首残高	3,713	4,803	・連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出△305M ・ソフトウェアの取得による支出 △189M		
現金および現金同等物期末残高	4,803	4,609	【財務C/F】		
時価ベースの自己資本比率(%)	136.9	163.1	・長期借入金の返済による支出△1,817M ・配当金の支払額△456M ・短期借入金の純減少額 △200M		
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(%)	58.9	106.0	・連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出 △135M		
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	117.3	97.5	・長期借入れによる収入1,600M		

セグメント別業績ポイント



前期比:SSS事業





[総括]

標的型攻撃に代表されるサイバー攻撃による事件が相次ぐなか、経営の重要課題としてサイバーセキュリティ対策強化への需要も拡大基調で推移。専門家による本格的なセキュリティ対策へのニーズを的確にとらえ増収となる。また、人員増強や処遇改善など人件費の増加に加え、子会社の取得関連費用の計上や監視設備増強など、期初に計画した投資による経費増を増収効果で吸収し増益となる。

[サブセグメント別売上]

- ◆セキュリティコンサルティングサービス
 - ▶ 過去最多の対応件数となった緊急対応サービス、標的型攻撃対策へのコンサルティングや教育、常駐型コンサルティング等が堅調に推移
- ◆ セキュリティ診断サービス
 - ▶ 疑似的な標的型メール攻撃による体験学習型の教育プログラム「ITセキュリティ予防接種」の受注が大幅に増加
 - ▶ お客様のインターネット環境の安全性の徹底調査へのニーズが一段と高まるなか、体制の強化により診断サービスの受注が増加
- ◆ セキュリティ運用監視サービス
 - ▶ 競争激化があったものの、悪質化・巧妙化するサイバー攻撃に対し、高度かつ広範囲な対策を講じる大型案件を新規獲得
 - ▶ 情報漏えいチェックサービスの受注が順調に推移
- ◆ セキュリティ製品販売
 - ▶ 頻発するサイバー攻撃に対する最先端の製品など新規案件の受注が増加
- ◆ セキュリティ保守サービス
 - > 既存の更新案件に加え新規案件の受注が拡大

セグメント別業績ポイント



前期比:SIS事業



「総括]

企業の旺盛なIT投資が続くなか、協力会社との連携を含め人員配置の最適化等による受注体制増強とプロジェクトマネジメントの強化により、開発サービスが主力の金融業向けに加え公共や金融業以外においても受注が拡大。また、低迷していたHW/SW販売は回復基調となり、ソリューションサービスも注力する新規分野が好調に推移。処遇改善による人件費増など期初に計画した投資による経費増は増収効果で吸収するも、新規事業進出のために設立した子会社の立ち上がりの遅れが影響し減益となる。

[サブセグメント別売上]

- ◆開発サービス
 - ▶ 大手銀行向け基盤構築案件の開発工程が第3四半期にピークを過ぎるも、カード業向け新規案件やIT・人材派遣業向け案件の受注が拡大
- ◆HW/SW販売
 - ▶ 金融機関向けサーバや、ソフトウェア・プラットフォーム製品など顧客ニーズを的確にとらえ受注が増加
- ◆ I T保守サービス
 - ▶ 前期のHW/SW販売不振の影響により減少
- ◆ ソリューションサービス
 - ▶ 自治体向けシステム更新案件が堅調に推移し受注が増加
 - ▶ 注力するアプリケーションパフォーマンス管理(APM)など新規ソリューションの受注が拡大

セグメント別業績ハイライト



前期比

	'15年3)	月期	'16年3月	期	前期比	
が上向	通期実績	構成比%	通期実績	構成比%	増減額	増減率%
セキュリティソリューションサービス(SSS)事業	7,639	23.3	9,301	25.2	+1,661	+21.8
セキュリティコンサルティングサービス	1,924	5.9	2,162	5.9	+237	+12.3
セキュリティ診断サービス	1,294	3.9	1,601	4.3	+307	+23.7
セキュリティ運用監視サービス	2,853	8.7	3,195	8.7	+342	+12.0
セキュリティ製品販売	787	2.4	1,452	3.9	+664	+84.4
セキュリティ保守サービス	779	2.4	889	2.4	+109	+14.1
システムインテグレーションサービス(SIS)事業	25,210	76.7	27,594	74.8	+2,384	+9.5
開発サービス	14,216	43.2	15,388	41.8	+1,171	+8.2
HW/SW販売	3,218	9.8	4,101	11.1	+883	+27.4
IT保守サービス	6,853	20.9	6,686	18.1	△167	△2.4
ソリューションサービス	922	2.8	1,419	3.8	+496	+53.9
合計	32,850	100.0	36,896	100.0	+4,046	+12.3

セグメント別業績ハイライト



前期比

セグメント利益	'15年3月期	'16年3月期	前期比	
こノグントが並	通期実績	通期実績	増減額	増減率%
セキュリティソリューションサービス (SSS) 事業	1,879	2,279	+400	+21.3
システムインテグレーションサービス(SIS)事業	2,370	2,258	△111	△4.7
消去又は全社(調整額、その他)	△1,921	△2,161	△239	-
合計	2,328	2,377	+48	+2.1

主なニュースリリース/お知らせ



4Q [2016年1月	3~3月]
2016/03/30	人事異動に関するお知らせ
2016/03/30	業績予想の修正及び配当予想の修正(増配)に関するお知らせ
2016/03/25	ラック、鹿児島大学へ情報セキュリティに関する特任教授として社員を出向
2016/03/23	ラック、若手エンジニアを応援する"すごうで2016"の支援対象者決定
2016/03/16	ラック、三重県警とサイバー空間の脅威に対する共同対処協定を締結
2016/03/11	組織変更および人事異動に関するお知らせ
2016/03/11	募集新株予約権(有償ストック・オプション)の発行に関するお知らせ
2016/03/03	当社株式の貸借銘柄選定に関するお知らせ
2016/02/29	株式会社ベネッセホールディングスによる当社株式取得に関するお知らせ
2016/02/03	平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)
2016/02/03	ラック、コンテンツ無害化技術「アイソレーション」を採用した最先端ソリューションの日本展開に参画
2016/02/01	遠隔操作ウイルスへの指令伝達にDNS の仕組みを悪用した事案に関する注意喚起
2016/01/29	ラック、NECプラットフォームズのセキュリティ機器へ独自の技術情報を提供

3Q [2015年10)月~12月]
2015/12/28	ラック、Juniper社ScreenOSの脆弱性に関する注意喚起を公開
2015/12/24	ラック、中高生のIT技術者を支援する"すごうで2016"の募集を開始
2015/12/08	ラック、ネットエージェント社と連携し不正通信解析技術を活用したサービスを発表
2015/11/04	平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)
2015/10/23	業績予想の修正に関するお知らせ
2015/10/14	ラック、企業・組織の標的型攻撃への耐性を調べる、『APT先制攻撃』の提供を開始

主なニュースリリース/お知らせ



2Q [2015年7月	2Q [2015年7月~9月]						
2015/09/30	人事異動に関するお知らせ						
2015/09/15	ラック、全国の自治体のマイナンバー保護を、技術と知見により加速させる取り組みを開始 ~マイナンバーを狙うサイバー攻撃の対策を、ツールキットと DB 保護ソリューションで支援~ ラック、日本全国の自治体の標的型攻撃対策を支援するパートナー制度を開始 ~標的型攻撃の脅威からマイナンバーを守る自治体を、地域のプロと協力して支援~ I T b o o k 株式会社との業務提携の基本合意に関するお知らせ						
2015/08/04	平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)						
2015/07/30	人事異動に関するお知らせ						
2015/07/28	組織変更および人事異動に関するお知らせ						
2015/07/14	子会社役員の異動に関するお知らせ ラック、標的型攻撃時代を受け、高校生のサイバーセキュリティ人材の育成と啓発活動を支援 〜京都府警と府立京都すばる高等学校が取り組むセキュリティ教育に、技術者を派遣し貢献〜						

主なニュースリリース/お知らせ



1Q [2015年4月	月~6月]
2015/06/30	ラック、企業のWeb サイトを保護する新サービス、「JSOC WAF 運用管理サービス」を提供開始
2015/06/24	人事異動に関するお知らせ
2015/06/23	支配株主等に関する事項について
2015/06/16	ラック、水面下で侵攻するサイバースパイ活動急増に関する注意喚起
2015/06/05	ラック、米フロスト&サリバン「日本市場マネージド セキュリティー サービス プロバイダー最優秀賞」受賞
2015/05/28	子会社役員の異動に関するお知らせ
2015/05/18	合弁会社設立に関するお知らせ(開示事項の経過報告)
2015/05/12	平成27年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結) 中期経営計画の策定に関するお知らせ 定款一部変更に関するお知らせ 役員の異動に関するお知らせ
2015/04/28	ネットエージェント株式会社の株式の取得(子会社化)に関するお知らせ(開示事項の経過報告)
2015/04/27	ラック、インターポールのデジタル犯罪センターに技術提供とエンジニア派遣で支援
2015/04/23	子会社役員の異動に関するお知らせ 合弁会社設立に関するお知らせ
2015/04/09	ラック、世界No.1マーケットシェア APMソリューションDynatraceの総代理店契約締結



1.2016年3月期 通期決算機要 2.2017年3月期 連結業績予想

3.2017年3月期 基本方針/事業重点的策

連結業績予想(通期)



前期比

【売上予想】

中期経営計画『TRY 2021 ステージ 1』の2年目である2017年3月期は、引き続き売上高拡大に向け、セキュリティ需要の拡大や金融関連を中心とするIT投資を背景に既存事業の拡大を図り、両事業ともに増収を見込む。

【営業利益予想】

引き続き次なる成長を加速するための投資や新たなチャレンジのフェーズと認識し、人員の増強や新規ビジネスの強化・拡充への取り組みに伴うコスト増などにより、前期並みを見込む。 (百万円)

科目	'16年3月期	'17年3月期	前期比増減	
770	通期実績	通期予想	差異	率(%)
売上高	36,896	39,000	+2,103	+5.7
セキュリティソリューションサービス(SSS)事業	9,301	11,000	+1,698	+18.3
システムインテグレーションサービス (SIS) 事業	27,594	28,000	+405	+1.5
営業利益	2,377	2,400	+22	+1.0
営業利益率%	6.4	6.2	∆0.2 p	-
経常利益	2,360	2,380	+19	+0.8
親会社株主に帰属する当期純利益	1,444	1,470	+25	+1.7
1 株当たり当期純利益 (EPS)	56円94銭	57円94銭	+1円00銭	+1.8
1株当たり配当金	18 円(予定)	18円	0円	-

連結業績予想







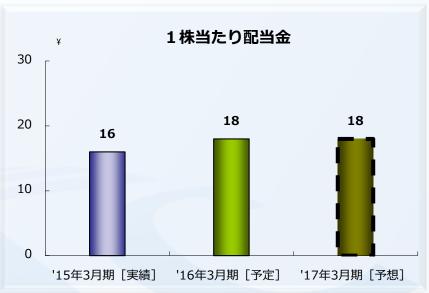




連結業績予想







セグメント別業績予想



売上高/セグメント利益

(百万円)

* ÷	'16年3月期	'17年3月期	前期比	
売上高 	通期実績	通期予想	増減額	増減率%
セキュリティソリューションサービス (SSS) 事業	9,301	11,000	+1,698	+18.3
システムインテグレーションサービス (SIS) 事業	27,594	28,000	+405	+1,5
合計	36,896	39,000	+2,103	+5.7

L- 64 . / > TII-46	'16年3月期	'17年3月期	前期比	
セグメント利益	通期実績	通期予想	増減額	増減率%
セキュリティソリューションサービス(SSS)事業	2,279	2,640	+360	+15.8
システムインテグレーションサービス (SIS) 事業	2,258	2,375	+116	+5.2
消去又は全社(調整額)	△2,161	△2,615	△454	-
合計	2,377	2,400	+22	+1.0

セグメント別業績予想



売上高/セグメント利益





*セグメント利益:消去又は全社調整前の利益

セグメント別業績予想



サブセグメント別売上高

売上高	'16年3月期		'17年3月期		前期比	
	通期実績	構成比%	通期予想	構成比%	増減額	増減率%
セキュリティソリューションサービス(SSS)事業	9,301	25.2	11,000	28.2	+1,698	+18.3
セキュリティコンサルティングサービス	2,162	5.9	2,410	6.2	+247	+11.4
セキュリティ診断サービス	1,601	4.3	1,760	4.5	+158	+9.9
セキュリティ運用監視サービス	3,195	8.7	3,590	9.2	+394	+12.3
セキュリティ製品販売	1,452	3.9	2,340	6.0	+887	+61.1
セキュリティ保守サービス	889	2.4	900	2.3	+10	+1.2
システムインテグレーションサービス(SIS)事業	27,594	74.8	28,000	71.8	+405	+1.5
開発サービス	15,388	41.7	15,900	40.8	+511	+3.3
HW/SW販売	4,101	11.1	4,650	11.9	+548	+13.4
IT保守サービス	6,686	18.1	5,320	13.6	△1,366	△20.4
ソリューションサービス	1,419	3.8	2,130	5.5	+710	+50.1
合計	36,896	100.0	39,000	100.0	+2,103	+5.7

- ・セキュリティ製品販売は、子会社の既存製品の拡販に加え、需要拡大が見込まれるSAAS型ソリューションの販売で前期比61.1%の大幅増収と予想
- ・ I T保守サービスは、現行機種更改に伴う保守契約の見直しを想定し前期比20.4%の減収と予想

連結業績予想(2Q累計)



前年同四半期期比

【売上/営業利益予想】

情報サービス業界は売上高・利益が下期偏重となる傾向にあり、当社も例年どおりその傾向が表れるなか、2016年3月期より スタートした中期経営計画に基づく投資による固定費の増加の影響が、特に利益面で顕著となり、第2四半期累計期間では増収減益 を見込む。

科目	'16年3月期	'17年3月期	前年同四半	期比増減
	2Q累計実績	2Q累計予想	差異	率(%)
売上高	17,126	17,840	+713	+4.2
セキュリティソリューション サービス(SSS)事業	3,670	4,450	+779	+21.3
システムインテグレーション サービス(SIS)事業	13,456	13,390	△66	△0.5
営業利益	660	515	△145	△22.0
営業利益率%	3.9	2.9	△1.0 p	-
経常利益	608	480	△128	△21.1
親会社株主に帰属する四半期純利益	289	230	△59	△20.6
1株当たり四半期純利益 (EPS)	11円42銭	9円07銭	△2円35銭	△20.6
1株当たり配当金	7 円	8円	1円	+14.3



1. 2016年3月期 通期決算概要 2. 2017年3月期 連結業績予想

3.2017年3月期 基本方針/事業重点施策

基本方針



全社

経営環境

- ■中国等の新興国経済の不振や資源安に加え、円高定着への警戒などの影響から景気の先行きに不透明感が 漂い始めるなか、超高齢化社会の到来や人口減少など、日本の経済環境は楽観視できる状況ではない
- ■2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催などに向け、IT投資需要は高いがセキュリティ技術者やシステム開発技術者ともに不足し、各社の採用競争が激しくなっている
- ■IoTやAIなど、ITを活用した新たな分野が次々と生まれてきている
- ■財務基盤が安定した今こそ、引き続き将来を見据えた投資や新たなチャレンジのフェーズと認識している

方針

- ■当社の可能性をより拡大していくためのチャレンジ
 - ◆新事業の展開
 - ◆新マーケットの創出
 - ◆先端技術の研究
- ■既存事業での優位な地位をさらに強化
 - ◆既存サービスの拡大
 - ◆お客様・パートナー満足度の向上
 - ◆サービス・業務の効率化
- ■事業の成長を支える会社基盤の強化
 - ◆人材育成と戦略的人事
 - ◆経営基盤の更なる強化
 - ◆信用力・知名度の向上

事業重点施策



SSS事業

経営環境

- ■世界中で日常化するサイバー攻撃への対策が社会にとって重要な課題であることが再認識されている
- ■標的型攻撃に代表されるサイバー攻撃がより悪質化・巧妙化するなか、高度かつ広範囲なセキュリティ 対策が求められている
- ■企業内の「セキュリティエンジニア」不足が一段と強まり、今後もこの状況が続くと予想される

方針

- 事業拡大に向けた取り組みの強化
 - ◆ 官公庁・エンタープライズ企業向けに特化したセキュリティサービスの提供
 - ◆ 既存顧客に対するコンサル・セキュリティ診断・常駐サービスのワンストップ展開によりビジネス最大化
- サービスデリバリー体制の強化
 - ◆ 需要の高い企業内SOCの導入運用支援、CSIRT導入運用支援などの人員拡大・人材育成
 - ◆ 受注堅調なセキュリティコンサルティングサービスへの人員シフト
 - ◆ セキュリティ診断のサービスデリバリー能力拡大のため、パートナー企業との連携強化
- 自社ブランド製品の企画・開発の加速化
- セキュリティブランドプレゼンスの向上に向けた投資、施策の実施
 - ◆ 官公庁へのセキュリティ人材支援強化
 - ◆ セキュリティ技術情報集約による対外発表、メディアへの露出強化(グループ会社含む)
- グローバル化する顧客企業のビジネス支援に向けたサービスの拡張

事業重点施策



SIS事業

経営環境

- ■国内のIT投資は低成長ながら引き続き安定した需要を維持すると予想される
- ■企業の「情報セキュリティ強化」、「システム基盤全体の効率化」への投資は引き続き増加傾向にある
- ■データ利活用、FinTechといった新たな技術・取り組みへの迅速な対応が求められる
- ■成長を支えるためのビジネス規模の拡大に伴う、新たな体制整備が必要である

方針

- ■ビジネス規模の拡大とセキュリティ事業との連携による独自の付加価値向上を更に加速させる
 - ◆ 人員再配置によるビジネス基盤の拡充
 - ◆ データベース技術を核とした基盤技術力のブラッシュアップ
 - ◆ 金融系サービス領域の拡大(注力ターゲット:アプリケーション開発サービス)
 - ◆ 企業や自治体向けセキュリティ基盤構築案件へのサービス提供
- ■デリバリースケールの拡大
 - ◆ ビジネスパートナーとの戦略的協業の推進
 - ◆ M&Aも視野にビジネス基盤の補完関係にある企業との連携
- ■人材育成の推進
 - ◆ プロジェクトマネジメント教育の統合システムの実践
 - ◆ セキュリティ事業対応力強化のため、セキュリティエンジニア育成に注力
- ソリューション型商材の拡販
 - ◆ アプリケーションパフォーマンス管理、統合ログ管理など運用の可視化、自動化ソリューションの提供



We provide IT total solutions based on advanced security technologies



- ※ 本資料は2016年5月現在の情報に基づいて作成しており、記載内容は予告なく変更される場合があります。
- ※ LAC、ラック、JSOC、サイバー救急センターは株式会社ラックの登録商標です。
- ※ その他記載されている会社名、製品名は一般に各社の商標または登録商標です。

株式会社ラック

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-16-1 平河町森タワー Tel 03-6757-0107 Fax 03-6757-0101 ir@lac.co.jp www.lac.co.jp